1　業務の目的と内容

１．１　目的

伝統的木造構法の建物は、これまで一般的に技術の伝承としての仕様に基づき建設されてきたところであるが、昨今においては構造的な安全の検証がもとめられてきているところである。

建築基準法においては、このような建物の安全の検証としては限界耐力計算等の高度な構造計算を要することが多い。本事業は、伝統的木造構法の建物の設計法を開発し改正建築基準法に基づく当該建物の審査に係る環境を整備することにより、これらの建物の円滑な建築に資するために行う。

１．２　実施内容

①平成 20 年度振動台実験棟を構成した耐力要素（壁、接合部）の実験
②平成 20 年度振動台実験棟と同仕様の軸組体の静加力実験
③実務者が取り組んでいる伝統的壁体等の耐力試験検証
④伝統的木造構法の設計法の構築、構造の体系的分類

１．３　実施体制

事業は、検討委員会、実施委員会及び作業チーム（TT：ﾀｽｸﾁｰﾑ）の構成をもって実施する。検討委員会は、実施委員会の審議結果を踏まえ実施方法及び最終成果・評価等の審議を行う。実施委員会は、作業チームの作業を踏まえながら事業実施及び最終成果の全般の実務を行う。作業チームは、各関連課題ごとに設け、具体な作業を実施する。

１．４　具体的な業務実施項目

（１）振動実験建物の軸組、構造要素等の実験
　　振動実験建物の供試建物に用いた各耐力要素（壁、軸組）の性能確認実験を行う。
　　振動実験建物と同仕様の軸組体の静加力実験を行う。
　　実務者が取り組んでいる伝統的壁体等の耐力試験検証を行う。
（２）限界耐力計算に基づく設計法の構築
　　「詳細設計法」と「簡易設計法」の具体的な設計法の作成を行う。
（３）伝統構法の分類
　　伝統構法の構造について体系的に分類整理を行う。
（４）材料問題の研究
　　無等級材、大径未乾燥材、古材及び丸太材の研究を行う。

伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験 検討委員会

委員等名簿

（順不同・敬称略）

委員長	坂本　功	東京大学　名誉教授
委　員	稲山　正弘	東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授
	大橋　好光	東京都市大学工学部建築学科 教授
	腰原　幹雄	東京大学生産技術研究所木質構造学 准教授
	鈴木　祥之	立命館大学グローバル・イノベーション研究機構　教授
	松留　愼一郎	職業能力開発総合大学校建築システム工学科 教授
	南　　一誠	芝浦工業大学工学部建築学科 教授
	宮澤　健二	工学院大学工学部建築学科 教授
	槌本　敬大	国土交通省国土技術政策総合研究所評価システム研究室長
	河合　直人	（独）建築研究所構造研究グループ 上席研究員
	中島　正愛	（独）防災科学技術研究所　兵庫耐震工学研究センター長
	岡田　　恒	（財）日本住宅・木材技術センター理事
	飯山　道久	（社）日本木造住宅産業協会 技術開発部長
	尾薗　春雄	（社）全国木材組合連合会 副会長
	樫原　健一	（社）日本建築構造技術者協会関西支部木造住宅レビュー委員長
	西村　慶徳	（社）全国中小建築工事業団体連合会 技術専門委員
	山辺　豊彦	（社）日本建築構造技術者協会関東甲信越支部長
	徳本　茂	全国建設労働組合総連合 住宅対策部長
	大江　忍	NPO 法人緑の列島ネットワーク
	佐久間　順三	埼玉県建築士会
	西澤　政男	NPO 法人日本伝統建築技術保存会
事務局		一般社団法人　木を活かす建築推進協議会
		財団法人　日本住宅・木材技術センター

伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験 実施委員会

委員等名簿

（順不同・敬称略）

主　査	大橋　好光	東京都市大学工学部建築学科　教授
委　員	五十田　博	信州大学工学部工学部建築学科　准教授
	稲山　正弘	東京大学大学院農学生命科学研究科　准教授
	腰原　幹雄	東京大学生産技術研究所木質構造学　准教授
	後藤　正美	金沢工業大学環境・建築学部建築系　教授
	藤田　香織	東京大学大学院工学系研究科　准教授
	松留　愼一郎	職業能力開発総合大学校建築システム工学科　教授
	村上　雅英	近畿大学理工学部建築学科　教授
	槌本　敬大	国土交通省国土技術政策総合研究所 評価システム研究室長
	河合　直人	（独）建築研究所構造研究グループ 上席研究員
	長尾　博文	（独）森林総合研究所構造利用研究領域チーム長
	岡田　恒	（財）日本住宅・木材技術センター理事
	木内　修	NPO 法人伝統木構造の会
	鳥羽瀬　公二	NPO 法人日本伝統建築技術保存会
	宮越　喜彦	職人がつくる木の家ネット
事務局		一般社団法人　木を活かす建築推進協議会
		財団法人　日本住宅・木材技術センター